

# 派遣報告書

令和元年11月 1日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会 会派 くらよし創生  
(代表) 議員 米田 勝彦



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

## 記

- 派遣期間  
■令和元年10月29日(火) から令和元年10月31日(木) まで
- 派遣先  
■長岡市 10月29日(火) 13:30~15:00  
■佐渡市 10月30日(水) 10:00~12:00  
■見附市 10月31日(木) 10:30~12:00
- 視察(調査) 議員名  
■米田 勝彦  
■佐々木 敬敏
- 面会者  
■長岡市 ・情報システム管理課長 杉本恭理  
■佐渡市 ・高齢福祉課長 岩崎洋昭  
■見附市 ・企画調整課総合戦略室副主幹 夫馬英之
- 派遣目的  
■長岡市 ・RPA導入による行政のICTの推進について  
■佐渡市 ・介護予防太鼓教室について  
■見附市 ・スマートウェルネスみつけについて
- 視察の経過及び感想  
■別紙「行政視察調査報告書」
- 添付書類  
■面会者名刺(写し)  
■視察先提供資料(概要)

要した経費：2人合計 240,940円

令和元年10月29日(火) 13:30~15:00

○ アオーレ長岡 (長岡市役所がある複合施設の建物名称)

長岡市大手通1-4-10

**視察目的**

- RPA導入による行政のICTの推進について

**視察経過**

- 長岡市の人口は、27万人で、新潟市79万人に次ぐ県下第2位の規模のまちです。
- RPAとは、パソコン上の定型作業を自動的に処理するソフトウェアのことでRobotic・Process・Automationの頭文字をとったものです。
- RPAの特徴は、業務の処理手順を登録するだけで基幹システム、各種ソフトウェア、クラウドサービス等、様々なアプリケーションを横断して自動処理することにあります。
- RPAが対象とする業務は、人の判断を必要としない処理件数が多い、例えば税務や人事、給与の事務です。
- RPAの効果をみるため9課を対象に2か月間試用した結果、6課25業務について自動化の目途が立ったとのことでした。

具体的には、6課25業務に3,214時間かかっていたのがRPAを使うことで1,186時間で済んだ、とのことでした。つまり、2,028時間(63%)の削減効果があったということです。

**視察感想**

- 自動化の目途が立った業務は、職員の勤怠管理、保育園への補助金支払、健診の事後処理、市民税賦課、統計用データ加工の各業務ということでした。倉吉市も検討する必要があると思いました。

- ・ 正面はアリーナ
- ・ 左が長岡市役所、右は議会棟



- ・ 広場に面した1階の議場内部



- ・ 議会棟4階の会議室



令和元年10月30日(水) 10:00~12:00

○ 佐和田行政サービスセンター(佐渡市議会事務局)

佐渡市河原田本町394

### 視察目的

■ 介護予防太鼓教室について

### 視察経過

- 佐渡市は、平成16年に全島10市町村が合併して1つの市となり、現在5.3万の人口です。佐渡島全体の面積は855km<sup>2</sup>です。これは倉吉市と周辺4町そして青谷を合わせた846km<sup>2</sup>を超える大きさで「島」というイメージは湧きません。
- 気候は、対馬暖流のおかげで、雪はほとんど降らないということでした。従って、除雪車は無いとのこと。
- 市には大きな産業はありません。従って若い人は新潟市や東京に就職していきます。
- 高齢化率は40%です。(倉吉市31%)  
要介護認定割合は22.8%(新潟県全体18.7%)  
国民健康保険診療費は310,324円  
(新潟県全体273,778円)となっています。
- 県全体から見ますと、認知症リスクが高いため、その予防対策として、平成26年度から和太鼓を用いた太鼓教室とそのサポーターを育成する事業を行っておられます。
- 和太鼓は、昔から佐渡地区に根付いており、楽しみながら介護(認知症)予防ができるということでした。
- 和太鼓は、市が購入したものです。(60個、506万円)
- 会場は、平成29年に廃校となった小学校を使っている。
- 太鼓教室の中身ですが、太鼓を叩きながら単語を覚える太鼓の叩き方を変える、太鼓を使わないでゲームをする等、講師の掛け声で行います。
- 認知症予防効果はあると思いました。

### 視察感想

- 私たちも実際に太鼓を叩いて経験しました。叩きますと振動が手から頭に伝わります。単純に脳の活性化を感じます。
- 倉吉も取り組む価値はあります。



○ 令和元年10月31日（木） 10:30～12:00

見附市役所

見附市昭和町2丁目1-1

### 視察目的

- スマートウェルネスみつけ について

### 視察経過

- 人口は40,341人（倉吉47,000人）  
高齢化率31.8%（倉吉31%）

新潟県：人口230万人  
：20市、6町、4村

- 見附市は、今から10年前の平成21年に、「健幸」をまちづくりの基本にされました。  
健幸とは、個人が健康かつ生きがいを持ち、安全安心に豊かな生活を営むことができることを言うそうです。
- 見附市は、スマート・ウェルネス・シティを目標にされました。
- これを実現するための政策が、歩いて暮らせるまちです。
- 具体的な施策としては、
  - ① 社会参加できる場づくり
  - ② 中心市街地を核とした賑わいづくり
  - ③ 歩きたくなる快適な歩行空間の整備
  - ④ 地域コミュニティ構築と協働のまちづくり
  - ⑤ 過度な車依存の脱却を可能にする公共交通の整備
  - ⑥ まちをゾーニングする
  - ⑦ 市民の健康づくりを啓発・サポートする人材の育成

- 我が国の超高齢・人口減社会によって生じる様々な社会課題を克服するための首長研究会が平成21年に7県9市で発足し、会長は見附市長で、令和元年度の会員数は、41都道府県97自治体だそうです。

### 視察感想

- 倉吉市も、目指すべき目標を定め、これを実現するための具体的な施策を示して市民の皆様と協働して実現していく時期に、来ていると思いました。

